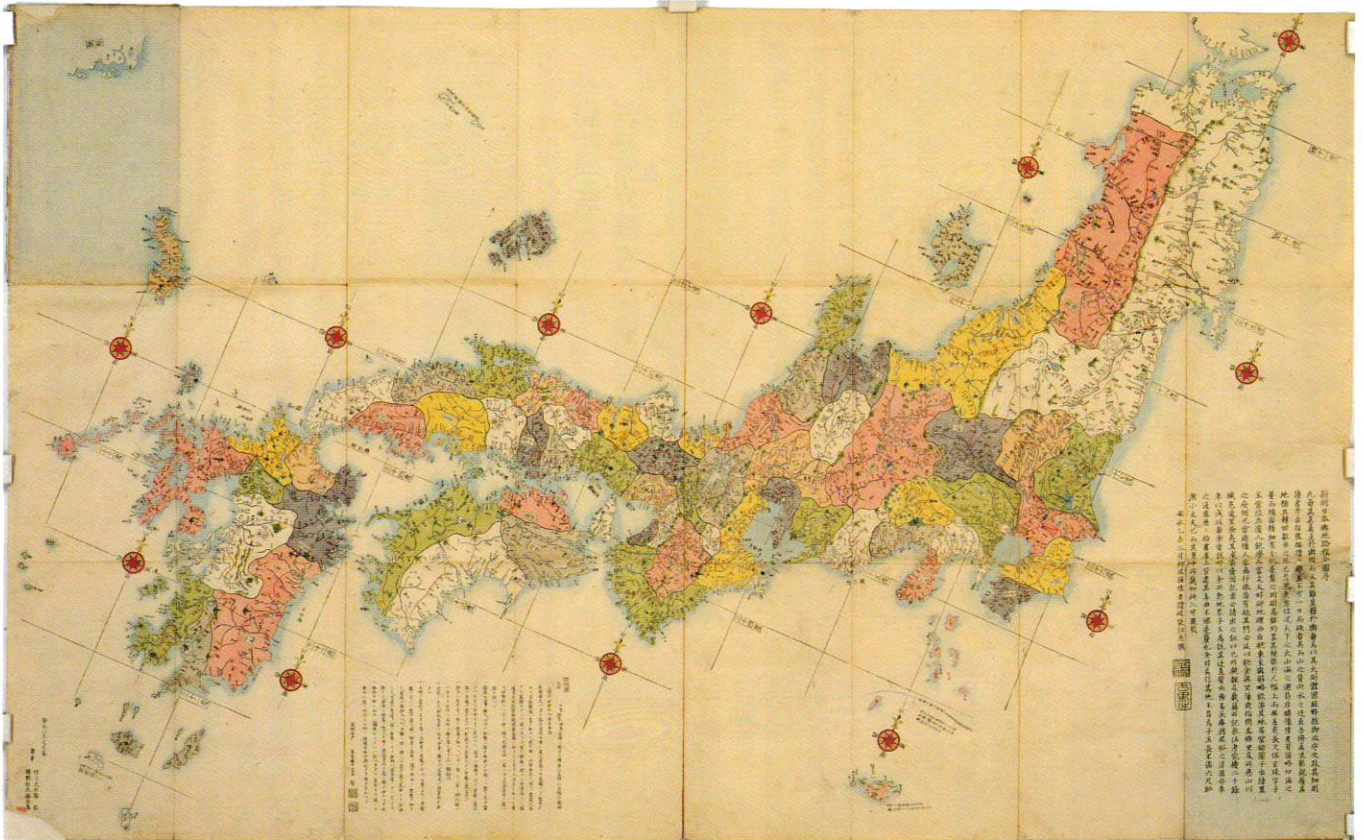


老健いばらき

第57号

2020.9.1



改正日本輿地路程全図（安永8年 1779年）初版 81.8×131cm

高萩市歴史民俗資料館所蔵（県指定重要文化財）（画像提供：高萩市、長久保赤水顕彰会）

現在の高萩市出身で、江戸時代の地理学者、長久保赤水（1717～1801）が日本で初めてつくった緯線・経線の入った地図です。初めて実測で日本地図をつくった伊能忠敬より42年早い偉業です。このたび赤水の関連資料693点が国の重要文化財に指定されました。赤水の地図は実用性が高くその後版を重ね、大ベストセラーとなりました。幕末の志士、吉田松陰も愛用していたとのこと。誕生の地、高萩市には市民で組織された長久保赤水銅像建立実行委員会や長久保赤水顕彰会が母体となり、日本芸術院会員能島征二氏製作による銅像が建立されました。



JR高萩駅前に建つ赤水像

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
 発行人／平成園 小柳賢時

編集人／かすみがうら
 編集／鹿野苑
 プラタナスの丘
 シニア健康センターしおさい
 つくばリハビリテーションセンター

大場正二
 熊坂裕吾
 大曾根卓
 児島強一
 市原健一



一般社団法人

茨城県介護老人保健施設協会

会長 小柳 賢時

梅雨明けが遅れ、豪雨災害にも気を使つながら新型コロナウイルスとの戦い大変な努力を使い各施設とも疲労困憊していると存じます。老健においても各地でクラスターが発生し施設における感染症に対する弱さ、予防の困難さを痛感しています。第2波が始まり、市中感染が広がりをみせ、施設にウイルスを持ち込まないため現状では職員の内泊に頼るのみです。通所者や新規入所者・職員の無症状でも負担なしでPCR検査を希望したいところです。感染者が出た時にスムーズに入院先が決まるのか、複数の感染者の時はどうなるのか、防護服等が不足するなか、感染予防スペースを確保して数日間施設内で対応することも考慮しておかなければなりません。地域医師会の協力を受け職員のPCR検査を受けやすくしておくことも必要と考へます。感染者が発生すると濃厚接触者など職員不足となります。施設内や同一法人内の対策では不十分と考へられます。新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業で応援に係るコーディネート機能の確保で発生した施設・派遣した施設に助成金は出ますが、平時においても人手不足であり、派遣した職員も派遣終了後一定期間待機することになります。現実的にはハードルは高いです。他の介護関係団体と協議しながら進めたいと考へます。全老健災害相互支援プロジェクトの緊急連絡網も同時に



一般社団法人

茨城県介護老人保健施設協会

理事 児島 強

会員の皆さん、如何お過ごしでしょうか？新型コロナウイルス感染症の収束が望めない中、見えない敵との戦いで悪戦苦闘の日々をお過ごしのことと思います。

この「コロナ禍」を通して、私が勤務する当施設の取組みについて報告致します。新型コロナウイルスは、1月末に中国武漢より発生し、世界的なパンデミックとなりました。日本も全国的な広がりを見せたものの、5月25日に一旦収束傾向から「緊急事態宣言」を解除しましたが、現在、第二波ともいえる感染拡大傾向にあります。

このような状況下、当施設においては、2月26日に感染対策委員会を立ち上げ、「感染しない、出さない、広げない」を念頭に、職員一丸となり取り組んでおります。主な取組みですが、第1に、マスク、こま

作成したいと思えます。第2次補正予算で介護施設で働く全職員に慰労金も支給されることになりましたが配布の時期はまだ未定です。収入減のなか経費も増え経営的にも大変ですが地域のかなで生きていきたいと思います。長期間感染症との戦いが強いられませんが、利用者・職員・経営者もウィズストレスの社会で対応・適応を考え、うつ病・不安障害・PTSDなどに対する精神的なケアを払って頂き、皆で乗りきっていきましょう。



茨城県保健福祉部

長寿福祉推進課

課長 下山田 義弘

今年の4月に長寿福祉推進課長に就任いたしました下山田義弘でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方には、日頃から高齢者保健福祉の向上並びに介護保険制度の円滑な運営に加えて、一般の新型コロナウイルス感染症対策に多大なご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

我が国では、人口減少と少子高齢化が急速に進行し、本県におきましても、今年4月1日現在の高齢化率は29.7%と、人口の約3割が高齢者という状況にあります。

こうした中、県では、人生100年時代を見据え、高齢者一人ひとりが健康でいきいきと活躍できる社会の実現を目指し、平成30年3月に「第7期いばらき高齢者プラン21」を策定しております。この計画では、団塊の世代全てが75歳以上となる2025年を見据え、高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の構築を施策の大きな柱に掲げております。

この中で、介護老人保健施設につきましては、平成30年の介護保険法改正に基づき「在宅支援・在宅復帰のための地域拠点」、「リハビリテーション機能を提供し身体機能の維持や回復の役割を担う施設」としての定義が明確化され、「地域包括ケアシステム」を構築していくうえで大きな役割が期待されております。

また、新型コロナウイルス感染症対策といたしましては、介護老人保健施設等における事前の対策と感染発生時の具体的対応を定めた「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を策定しましたので、これに基づく施設での事前のトレーニングなど感染の発生及び拡大の防止策等により、クラスター発生を抑え、必要な介護サービスが継続されますよう取組みの徹底をお願いいたします。

結びに、今後とも本県の高齢者保健福祉行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々の発展をご祈念いたしまして、挨拶といたします。

職種別専門委員会 委員長挨拶

リハビリテーション専門委員会

みがわ

笠原 鉄聡

今年度は年3回の研修会を予定してありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、6月開催の第1回研修会と10月開催予定の第2回研修会については中止という苦渋の決断をさせていただきます。

令和2年7月23日現在、本県ではStage 2の段階にあり、研修会の開催要件として屋内での開催は100人以下、かつ収容定員の半分以上の参加人数であれば可能となっております。しかし、新規感染者数は連日最多を更新し、全国的にも第2波の到来が懸念されている状況下において開催を判断することの難しさについてご理解いただけますと幸いです。

第3回研修会については、感染状況を踏まえながら、国・県の指針等を参考に開催できるよう準備を進めてまいりたいと思っております。また、Webを活用したオンライン研修会の開催についての必要性は強く感じており、導入を検討していければと思っております。

ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんが、何卒ご了承のほど宜しくお願いいたします。

看護・介護専門委員会

つくばリハビリテーションセンター

角田 浩一

今年度より、看護・介護専門委員会にて委員長を務めさせていただく事になりました。つくばリハビリテーションセンターの角田で

初めての委員長を務めます。皆様にご迷惑をおかけすることもありますが、精いっぱい委員の方々と協力しながら、精いっぱい努めていきたいと思っております。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡がりにより、常に不安を抱え、私たちの生活は大きく変化してしまいました。

今年度は現状での研修会は、安全を第一に考え中止となってしまいました。

元の生活に戻るには相当な時間がかかる事が予測され、新しい生活様式を取り入れた研修会の方法の検討が必要であると考えます。この期間で、さらなる高みを目指すべきか検討しなければと思っております。

今後とも委員会が専門職としてのスキルアップの機会となる様、運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

事務専門委員会

平成園

竹村 翼

今年度より、事務専門委員会の委員長を務めさせていただきます。平成園の竹村翼です。皆様のご協力を頂き、精一杯努めさせていただきます。宜しくお願致します。

当初、当委員会では、年2回の研修会を企画しておりました。第1回目は、全職種向けの接遇研修、第2回目は、近年ご好評を頂いていたグループワークを予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、慎重に検討した結果、中止となりました。

現在、各施設におかれましては、感染対策に追われ、感染予防の観点からも、外部への研修会などへの参加も難しい状況下にあると思っております。その中で、当委員会としても、今後はZoomなど、オンライン上で密にならない、新しい様式での研修会を検討しております。

今後とも、当委員会の運営に、ご理解・ご

支援相談員専門委員会

ごまよりの里

渡辺 陽子

今年度より、支援相談員専門委員会の委員長を務めさせていただきますことになりました。ごまよりの里の渡辺陽子です。不慣れではございますが、皆様のご協力をいただきながら精一杯努めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

本来であれば今年度、6月と9月に研修会を開催する予定で、専門委員会の皆様と研修会の日程、内容について検討してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、今年度はやむなく中止とさせていただきます。未だかつてないこの状況に、今後どのように研修の開催をしていくかなど、様々な課題があるところではございますが、委員の皆様のご協力をいただきながら、この状況を乗り越えて行ければと思っております。また皆様と情報交換ができる日を心待ちにしております。

栄養専門委員会

ごまよりの里

須藤 親子

今年度、栄養専門委員会委員長を務めさせていただきます。至らない点も多々あると思っておりますが精一杯努めて参ります。本来なら、今年度も2度の研修を予定しておりました。第1回研修では、高齢社会により対応すべく、高齢者の低栄養、フレイル予防を視野にいれ策定された「日本人の食事摂取基準2020年版」において、主な改訂ポイントと活用についての講義。第2回研修では「リハ栄養」及び、介護報酬改定後の加算について、事例を用いてより簡単に算定に結び付けられるような研修内容を検討しておりました。しかしな

がら、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、中止となりました。日常の忙しさに加え、新たな感染症対策で各施設でも様々な対応に悩まれている事と思っております。皆様も健康に十分注意なされ、厳しい状況を乗り越え、今後の運営にもご協力をお願い致します。

令和2年度
一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会
事業計画

4月	予定なし
5月	・定時社員総会・定例理事会(21日) ・看護・介護専門委員会(中止) ・リハビリ専門委員会(中止) ・支援相談員専門委員会(中止)
6月	・広報委員会「老健いばらき」担当委員会(10日) ・事務専門委員会(中止)
7月	・予定なし
8月	・老健いばらき第57号発行(1日) ・学術委員会 研究発表会担当委員会(予定)
9月	・支援相談員専門委員会(中止)
10月	・看護・介護専門委員会(中止) ・リハビリ専門委員会(中止) ・栄養専門委員会(中止)
11月	・広報委員会「老健いばらき」担当委員会(予定) ・定例理事会(27日)
12月	・学術委員会 研究発表会担当委員会(予定)
1月	・予定なし
2月	・第28回研究発表会茨城県功労者・協会功労者・永年勤続者表彰(26日) ・老健いばらき第58号発行(1日)(予定) ・リハビリ専門委員会(5日)
3月	・職種別専門委員会(予定) ・定例理事会(予定)

在宅復帰指標に関するアンケート結果

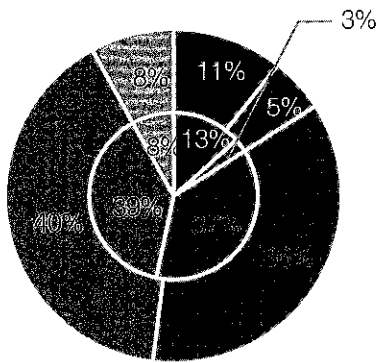
この度、R2年2月分（新型コロナウイルス感染拡大前）、R2年6月分（新型コロナウイルス感染拡大後）の在宅復帰指標に関するアンケート調査を実施させていただきました。その集計結果を報告いたします。

回答施設74/107 回答率69%

項	目	R2年2月	R2年6月
・介護保健施設サービス費 ・ユニット型 介護保健施設サービス費	超強化型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱ）	10	8
	在宅強化型	2	4
	加算型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ）	28	27
	基本型	29	30
	その他型	6	6
A 在宅復帰率	50%超	14	10
	30%超	9	14
	30%以下	52	51
B ベッド回転率	10%以上	26	22
	5%以上	37	40
	5%未満	12	13
C 入所前後訪問指導割合	30%以上	38	38
	10%以上	12	11
	10%未満	25	26
D 退所前後訪問指導割合	30%以上	47	39
	10%以上	3	10
	10%未満	25	26
E 居宅サービスの実施数	3サービス	22	21
	2サービス	42	41
	1サービス	6	8
	0サービス	5	5
F リハ専門職の配置数	5以上	21	24
	3以上	34	35
	3未満	20	6
G 支援相談員の配置割合	3以上	23	22
	2以上	30	32
	2未満	22	21
H 要介護4又は5の割合	50%以上	24	27
	35%以上	32	31
	35%未満	19	17
I 喀痰吸引の実施割合	10%以上	20	20
	5%以上	15	15
	5%未満	40	40
J 経管栄養の実施割合	10%以上	20	23
	5%以上	25	20
	5%未満	30	32

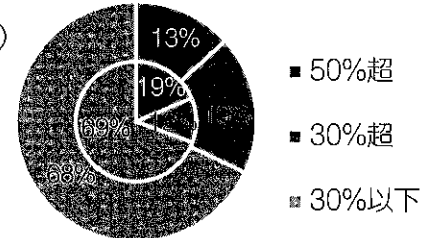
算定施設区分

結果報告の在宅復帰指標について円グラフで表示しました。
外周はR2年6月分、内周はR2年2月分のデータです。

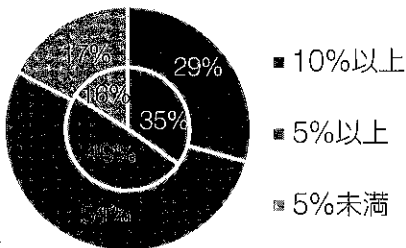


- 超強化型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱ）
- 在宅強化型
- 加算型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ）
- 基本型
- その他型

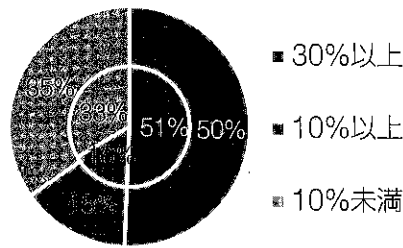
A. 在宅復帰率



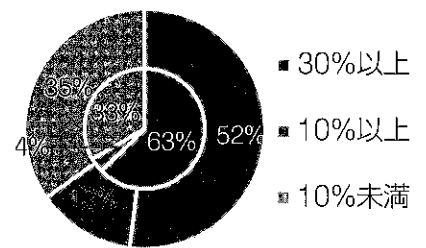
B. ベッド回転率



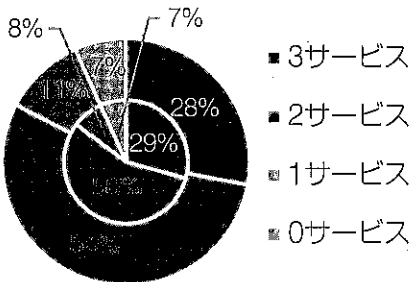
C. 入所前後訪問指導割合



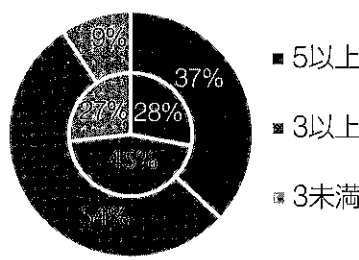
D. 退所前後訪問指導割合



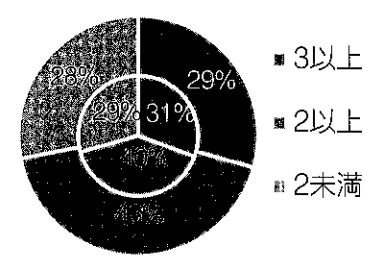
E. 居宅サービスの実施数



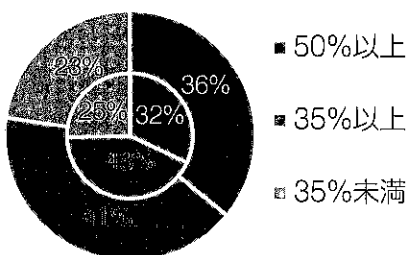
F. リハ専門職の配置数



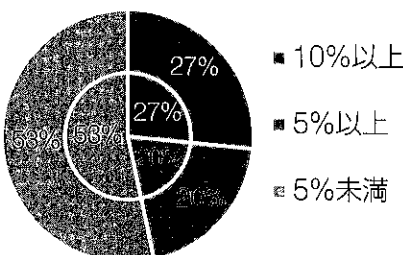
G. 支援相談員の配置割合



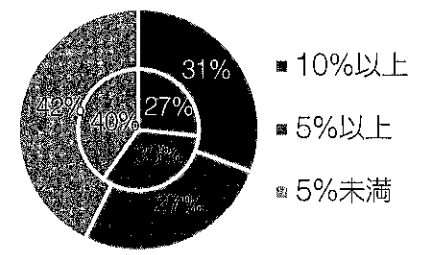
H. 要介護4又は5の割合



I. 喀痰吸引の実施割合



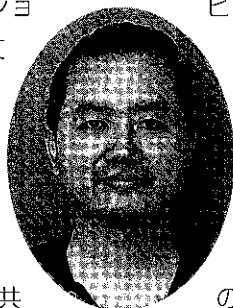
J. 経管栄養の実施割合



地域に根ざした施設へ

協和ヘルシーセンターは県西部の筑西市にあり、昭和63年12月に介護老人保健施設として開設しました。当初は小さな規模から運営を始めましたが、平成12年に施行された介護保険制度を契機に通所リハビリテーションの拡充、訪問リハビリテーションと居宅介護支援事業所をそれぞれ設立しております。現在の定員は入所100名、通所リハビリ100名、訪問リハビリ30名です。

リハビリテーション部門のスタッフ構成は理学療法士6名、作業療法士4名、言語聴覚士1名、助手が1名在籍しております。スタッフ間の情報共有や連携を図りながら利用者様の心身状態に応じた個別の運動や体操、ご自宅でも実践できる自主トレーニング指導、利用者様が笑顔になれる季節ごとの行事イベント



介護老人保健施設 協和ヘルシーセンター 作業療法士 菱沼 勝巳

やレクリエーションなどを行っています。

また、昨今の介護施設では利用者様のリハビリテーション目標も様々であり、私達療法士が担う役割や提供サービスの内容も個別性や多様性が求められていると思います。柔軟に対応し、利用者様が施設で過ごす時間や普段の生活の中でたくさんの人とのふれあいや充実感を抱いていただけるよう、一人ひとりに寄り添いながら多職種協働での支援に努めていきたいと思っております。

最後になりますが、現在、新型コロナウイルスの感染拡大により感染予防対策を講じながら活動内容を一部自粛して施設運営を行っています。収束時期も分からない中で戸惑いや不安を感じていますが、利用者様が笑顔で過ごせる日々を戻すことを願っております。



～コロナに負けない！ ピンチはチャンス！～

当施設は、県北端の北茨城市に平成12年に開設し、今年20周年を迎えます。10周年目の際には、東日本大震災での被災。福島県境でもあり、オーシャンビューの当施設では津波被害を受けた利用者様も多く、避難生活を余儀なくされました。震災での経験から、大規模災害を想定した災害訓練を現在も行っております。リハビリスタッフは、避難時にトリアージが行えるよう身体機能の状態把握を誰もが行えるよう取り組んでいます。

これまで利用者様の笑顔の為に様々な取り組みを行ってまいりましたが、コロナ対策により行事も制限されてしまっている現状です。面会制限される中、オンライン面会や利用者様の様子がわかるよう写真でご家族様にお伝えする取り組みも行い始めました。皆様が楽し



介護老人保健施設 おはよう館 理学療法士 柴田 みどり

みにされていた集団レクリエーションも感染予防の観点から、現在は小グループでのアクティビティ活動が充実（多種選択）して行えるよう仕組み作りをしています。コロナが落ちついたらやってみたいこと、会えないご家族に会えた時にできるようになった姿をみせたい等の目標を具体化させながら、目標達成に向け多職種と共に支援しています。小さな目標を1つずつ達成できた時の利用者様の笑顔が私の励みにもなっています。

節目の年に様々な苦難がありましたが、【ピンチ】は【チャンス】と捉え前向きに、身体機能だけに目を向けるのではなく、利用者様の笑顔が溢れる日々が過ごせるよう、今後も多職種協働で取り組んでいきたいと思っています。

施 設 紹 介

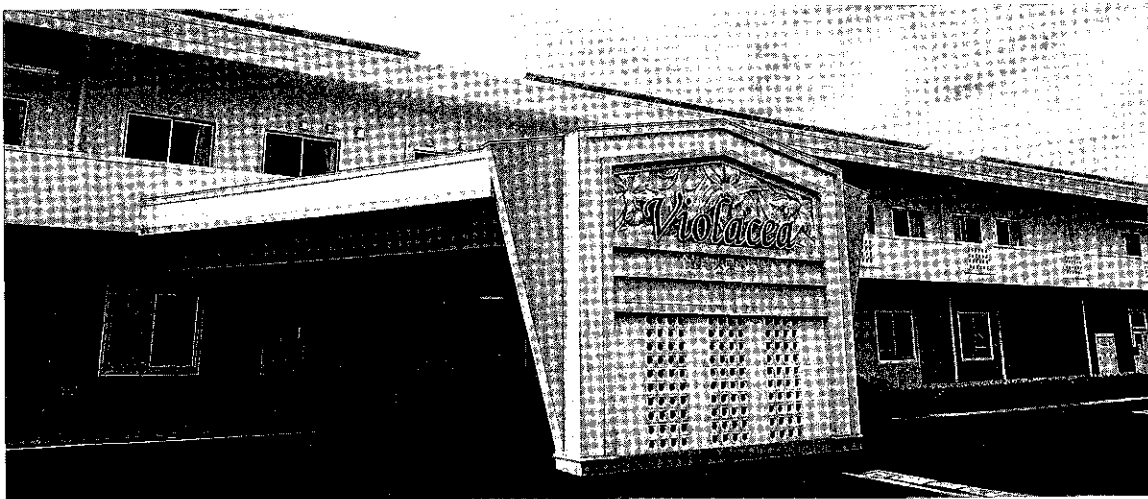
当施設 介護老人保健施設「ビオラセア」は平成31年1月7日に開設した入所80名（ショート含む）通所リハビリ30名の施設です。

当法人「医療法人 美湖会」は美浦村にある美浦中央病院を中心にゴーエン美浦（美浦村）プエブロ稲敷（稲敷市）アイケア（守谷市）ウイケア（石岡市）があります。

設立当初より常にご利用者様本人とご家族様の立場を考え、多彩な関連施設と福祉の連携を図りつつ、より良いサービスの提供をすることをグループの理念として参りました。

在宅支援の難しい胃瘻、経鼻栄養、インスリン等の医療依存度が高い利用者の方でも積極的に受け入れます。

リハビリでは理学療法士、作業療法士、言語療法士の3職種で連携し一人一人に合ったリハビリテーションを提供していきます。看護、介護、リハビリの多職種にて連携を図り、その方の希望に合わせたケアプランを作成し、家庭的な明るい雰囲気、きめ細やかなケアを提供していきます。退所後も安心した家庭生活が営めるよう在宅サービスの充実にも力をそそぎ、地域高齢者ケアの向上のため地域住民に開かれた施設を目指していきます。今後ともよろしくお願い致します。



医療法人 美湖会
介護老人保健施設 ビオラセア

茨城県龍ヶ崎市野原1360-1
TEL：0297-85-5111
FAX：0297-85-5116

あいあい (石岡市)



●「紙皿シリーズ」

当施設の利用者様は季節の手工芸の作品をととても楽しみにしています。

今回は紙皿を使って製作してみました。

ボタンや松ぼっくり等身近にある物を利用者様も集めてくれたので皆で考えながら製作しました。

シニア健康センターしおさい (日立市)



●「たなばたさん」

仙台七夕まつりで有名な吹き流しを、毎年介護スタッフが製作しております。

スタッフのアイデアが詰まった個性的な七夕飾りが梅雨の憂鬱な気分を明るくしてくれます。

七夕飾りには色々な意味があるそうですが、特段今年は一日でも早く日常が戻ることを願わずにはいられません。

みんなの

はすみ敬愛 (常陸太田市)



●「弘前城」

通所リハビリテーション利用者様の作品です。下書きの段階から細かに描き、色付けでは(折り紙和紙 絵の具)見事に城の風格が表現されています。お城と桜のバランスも見事です。出来上がった時には利用者様全員で「見事だね。きれいだね！」の大合唱でした。ダイナミックな作品でしたので、今は玄関に飾ってあり利用者様を出迎えていております。

のた場

はなみずき (水戸市)

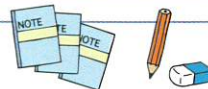


●「風鈴」

コロナ禍でも夏を感じて頂きたく、ご利用者と職員と一緒に色画用紙を切る所から組み立てまで作成しました。短冊には思いの言葉や絵を書いてあります。又、全部の作品には鈴が付いていますので音色も楽しめます。

みんなの広場に掲載する作品を募集しております。
お気軽に下記電話番号までお問い合わせください。

— 編集後記 —



長久保赤水の生い立ちや功績を理解するにはマンガによるものが刊行されていますので、おすすめです。また、赤水も触れている福島県四倉沖に現れたとされる謎の自然現象も絵本化されています。(『りゅうのひかり』) いずれも県内の作家の方が書かれたものです。是非ご一読をおすすめします。長久保赤水顕彰会では、今後、記念館の開設や大河ドラマ化へ向けてのPRも積極的に展開していくとのことです。実現化へ向けて応援していきたいものです。なお、高萩市歴史民俗資料館では、9月23日から30日の期間を除く11月15日まで、赤水の特別展を開催していますのでご覧ください。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

水戸事務局
水戸市千波町1918 (月・金9:00~13:00)
TEL. 029-291-5376 FAX. 029-291-6057

平成園
古河市旭町1-17-39 (左記以外時間帯対応)
TEL. 0280-31-5998 FAX. 0280-31-7767